

地域と共に生きる 大学を考える

日時：平成29年3月18日(土)
14:00～16:30(終了予定)

会場：東北学院大学土樋キャンパス
8号館3階 第3・4会議室

事前申込不要・入場無料・どなたでもご参加いただけます

※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。



現在、地域と大学の連携について、日本全国でその必要性が高まり、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」等をはじめとして全国各地で様々な取り組みが行われております。

本シンポジウムでは、地域と大学の双方が未来に向けた新しい価値を生み出すために、どのような視点を持ち、取り組みを重ねていくかを深く考えます。

キーノートレクチャー

「大学における地域貢献型教育の意義と可能性 ～なぜ大学は地域との連携を求められているのか～」

喜久里 要氏 (早稲田大学研究戦略センター)

事例紹介

地(知)の拠点整備事業のいま、これから

名古屋学院大学

「地域連携における学生・職員・教員の協働のあり方
-COC事業を事例として-」

家本 博一氏 (名古屋学院大学社会連携センター長、同大学経済学部教授)

杉山 晃一氏 (名古屋学院大学社会連携センター課長)

京都文教大学

「地域と大学のともいき(共生)をめざして
-京都文教大学の事例-」

片山 明久氏 (京都文教大学総合社会学部総合社会学科准教授)

押領司哲也氏 (京都文教大学フィールドリサーチオフィス課長)

東北学院大学

「共生社会の中で気づく・築く地域と大学の関わり」

本間 照雄 (東北学院大学地域共生推進機構特任教授)

PROGRAM

1 ● 開会

2 ● 挨拶 松本 宣郎 (東北学院大学学長)

3 ● キーノートレクチャー

「大学における地域貢献型教育の意義と可能性

～なぜ大学は地域との連携を求められているのか～

喜久里 要氏 (早稲田大学研究戦略センター)

2003年文部科学省入省。初等中等教育局児童生徒課、高等教育局大学振興課(大学の質保証)・私学助成課(私立大学振興)・大阪大学出向(SGUなど大学改革の企画立案)など高等教育行政に6年超携わる。2015年10月より早稲田大学職員に転身。

4 ● 事例紹介

地(知)の拠点整備事業のいま、これから

名古屋学院大学

「地域連携における学生・職員・教員の協働のあり方
-COC事業を事例として-」

京都文教大学

「地域と大学のともいき(共生)をめざして
-京都文教大学の事例-」

東北学院大学

「共生社会の中で気づく・築く地域と大学の関わり」

家本 博一氏 (名古屋学院大学社会連携センター長、同大学経済学部教授)

杉山 晃一氏 (名古屋学院大学社会連携センター課長)

片山 明久氏 (京都文教大学総合社会学部総合社会学科准教授)

押領司哲也氏 (京都文教大学フィールドリサーチオフィス課長)

本間 照雄 (東北学院大学地域共生推進機構特任教授)

休憩

5 ● 鼎 談

地域と共に生きる大学を考える

キーノートレクチャー及び事例紹介をもとに、「地域と共に生きる大学」は、どのような視点や機能を持つ必要があるかを考えます。

パネリスト：事例紹介登壇者

コーディネーター：阿部 重樹(東北学院大学地域共生推進機構長)

6 ● 閉会

【お問い合わせ先】

東北学院大学地域共生推進機構 (学長室地域共生推進課)

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目 3-1

TEL.022-264-6562 FAX.022-264-6522

E-mail : kikou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

東北学院大学 土樋キャンパス案内図

